

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	財政課
会議名 (審議会等名)	令和5年度 第1回 嬉野市公共施設等管理計画策定委員会	
開催日時	令和5年10月25日(水) 14:00～14:55	
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎3階 3-2会議室	
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	梅崎委員、田中委員、峰松委員、桑原副委員長、宮崎委員長、藤川委員、諸岡委員 … 7名
	事務局	市長 行政経営部長(永江)、財政課長(中村)、財政課資産管理 G (馬場、尾崎)
	その他	計画策定業務請負業者(東亜建設技術(株)) 2名
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	(1) 嬉野市公共施設等管理計画策定委員会 条例、委員名簿 (2) 公共施設等総合管理計画の概要について (抜粋：総務省資料) (3) 総合管理計画に位置づけられた広域連携の取組事例	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	財政課
議 題	(1) 委嘱状交付、委員長、副委員長の選出等(次第1～6)		
内 容	事務局の進行により開会を行い、委員への委嘱状交付、委員長、副委員長の選出などを行った。		
審議経過	次第1 事務局	開会 ただ今から、第1回嬉野市公共施設等管理計画策定委員会を開催いたします。	
	次第2 事務局	市長あいさつ 委員会開催にあたり、嬉野市長がご挨拶を申し上げます。	
	市長	【あいさつ】	
	次第3 事務局	委嘱状交付 委員への委嘱状交付を行います。	
	市長	【市長より各委員へ委嘱状交付】	
	次第4 事務局	委員・事務局紹介 今回、嬉野市公共施設等管理計画策定委員会条例第3条の規定により、7名の皆様に委員をお願いしております。委員の内訳として、学識経験を有する方が3名、市民団体等の代表者の方が4名となっております。	
	事務局	【各委員紹介、事務局職員紹介、請負業者紹介】	
次第5 事務局	会議の公開・非公開決定 これは市が設置する委員会等の会議毎に、会議の公開・非公開を決定する必要がありますが、今回の第1回本委員会については、嬉野市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条及び第4条により、非公開とする会議等にはあたらないと判断し、「会議公開」		

	<p>委員</p> <p>次第6</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>市長</p> <p>委員長、 副委員長</p> <p>委員長</p>	<p>としております。以後の開催においても原則公開とする予定です。</p> <p>【異議無し】</p> <p>委員長・副委員長選出</p> <p>嬉野市公共施設等管理計画策定委員会条例第5条第2項により、委員長は委員の互選、副委員長は委員長指名で選出することとなっております。今回、委員の皆様は初対面の方も多いため、よろしければ事務局から提案させていただきたいと考えておりますがいかがでしょうか。</p> <p>【異議無し】</p> <p>それでは、事務局案として委員長を宮崎委員に、副委員長を桑原委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>【異議無し】</p> <p>それでは、宮崎委員に委員長を、桑原委員に副委員長をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>ここで、市長は次の公務が入っておりますので退席させていただきます。</p> <p>【退席】</p> <p>【席移動】</p> <p>それでは、これより私の方で議事進行してまいります。本日の出席委員は6名であり、出席委員が過半数を超えております。当委員会条例第6条第2項の規定により会議は成立します。これから議事に入ります。</p> <p>※この後次第8に入った直後、委員1名が到着し全員出席となる</p>
その他		

議 題	(2) 本委員会の趣旨等の説明 (次第7)	
内 容	<p>過去に建設された公共施設等が大量に更新時期を迎える一方、地方公共団体の財政状況というものは依然として厳しい状況でございます。また、人口減少などにより、施設の利用需要も変化している中で、今後の老朽化対策や適切な維持管理を行う為に、平成28年度に策定された「嬉野市公共施設等総合管理計画」を一定期間が経過した為に見直すものでございます。本年度までの期間に、当初計画を実行する為に努めてまいりましたが、更新する際の財源確保や、市民の皆様との意見調整もあり、計画通りに進まなかった施設もございます。そして現在、新庁舎建設計画も進行中であり、塩田庁舎の今後の利活用も併せて検討をされているところでございます。委員の皆様におかれましては、地域の実情や経験、知識等を踏まえ当初計画からの見直しについて、率直な意見や建設的な提案を出していただき、当市にとって最適な施設管理の方針を取りまとめていただきたいと思いますと考えております。また、市といたしましても、今後の市民サービスの向上に努めて参りたいと考えております。</p>	
審議経過	<p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>ただいまの事務局からの説明について、委員の皆様から何かご質問やご意見はありませんか。</p> <p>【質疑無し】</p>
その他		

議 題	(3) 公共施設等総合管理計画の概要について (次第8)	
内 容	東亜建設技術(株)より、資料(公共施設総合管理計画の概要、総合管理計画に位置づけられた広域連携の取組事例)を用いて説明。	
審議経過	委員長 委員	ただいまの説明について、委員の皆様から何かご質問やご意見はありませんか。 【意見無し】
その他		

議 題	(4) その他(次第9)	
内 容	事務局より、次回以降の開催予定について説明。	
審議経過	委員長	ただいまの説明について、委員の皆様から何かご質問やご意見はありませんか。
	委員	一つだけお願いというか、公共事業に関して、給食センター等の集約も行政的な費用を圧縮するために必要というの判りますが、集約するのではなく、むしろ子供たちが温かい給食を食べる為に数を増やせば、親御さんたちも嬉野に寄って来るし、財政も潤ってくると思います。その辺の施設とかに関しても、もっともっと増やして、お金を使っただけないかなと思っています。もっと独自に出来ること。お金を使っても、小さい時から良いお茶を飲ませて、嬉野市にもっと愛着を持たせるようにという感じで、もっと色んなところでお金を使っただけないかなと。施設も含めてですね。
	事務局	貴重なご意見ありがとうございました。この総合管理計画に至って言えば、お金がないので統合したりして提供しましょうというのが大きな目的で、ただ、委員さんが仰るとおり、市内に2ヶ所給食センターございます。それを学校毎に増やすというのはかなり難しい話ではありますが、給食センター統合の話も一つの案としてあがってくるはずではありますが、その時にまたそういった意見を仰っていただいて、その施設はやはり維持しなければならないということで、改修しながら長持ちをさせて、ちょっとでも温かい給食を子供たちに食べていただきたい。そういったご意見を反映させながら計画をしていきたいと思っております。統合ありきではございませんので。
	事務局	今回の公共施設等総合管理計画は、今ある建物をどうやって維持していくかというのが目標であることをご理解いただきたい。今ある公共施設を40年間維持していくには150億円の財源不足が生じるというものが前の公共施設等総合管理計画でした。150億円といたら多額の予算が減ってまいりますので、それでは公共施設をどのように活用していくかというのが、今回の管理計画になっておりま

	<p>委員</p>	<p>す。委員さんが言われますように、今後市の政策としては、やはり人口増やすとか、定住・移住とか、子供達の為とか、高齢者の為とか、色んな政策を行っていかなければならないと思っております。</p> <p>この公共施設等総合管理計画とは、冒頭にお話がありましたとおり、今後の財政の部分と、大量に更新時期を迎える施設の再配置とか、そういったことによって財政の平準化、今の各自治体の行政サービスの水準を落とさずに、未来永劫続いていく為に今からきちんと今後の見通しを立てていかないとお金が続きません。冒頭に市長が言われたように、高度経済成長期から昭和50・60年代に日本全国で大量のインフラ整備が行われ、それが今50年ぐらい経ってきて、建て替えの時期を迎えて、建て替えたらお金が無茶苦茶かかると。人口は減少する一方で収入は減るだろうというところで、今各自治体が所有する建物をどうしていくかという話で、ただ全国色々な自治体がありまして、都市部と佐賀県のようないわゆる田舎の自治体では事情が色々違うと思います。今の計画の今後40年間更新していくと、150数億足りないというのはいわゆる机上の計算です。自治体の実情に合わせて作りなさいと国の要請がっておりますので、田舎には田舎のやり方があるのではないかと。集約か複合かというのは、今ある絶対数をまとめることで数を減らし、延床面積を削減しようというのが基本ラインのように皆さん仰っておりますけど、今ある学校をすべて維持していく、これも一つの手だと思えます。ただ、今ある学校の延床面積が、将来の子供たちの数の推計からして、今の面積が必要かどうか。建て替えをするならコンパクトに小さくしていく、そこで削減していった数は減らさないとか、色々なやり方があると思います。いわゆるトータルコストで削減が出来ればよいことであって、数を減らしたり面積を減らすということに執着する必要はないと思います。トータルコストの考え方、それとライフサイクルコストという言葉がありますが、いわゆる建物を建ててから、使い終わって壊すまで、解体費用まで全部ひくくめて考えなければならない。地域が育てる次世代の子供たちというところも大事なので、そのためにも学校をはじめとする施設の今後のあり方というのは、この公共施設等総合管理計画で大きな方向性・方針を決めて、それで個別施設計画の方で具体的に試算等をやりながら進めていかれたらいいかなと思います。</p>
	<p>事務局</p>	<p>市の公共施設の考え方は、何が何でも施設を無くすという考え方は持ってはおりません。地域の特性を生かした公共施設の運営は、行っていかなければならないと思っておりますし、基本方針として持っております。何でもかんでも公共施設がなくなっていったら、よ</p>

	<p>委員長</p>	<p>そのまちに住んでしまうというのがあると思います。やはり魅力あるまちというのはどういうものがふさわしいかというのも踏まえた上で、公共施設の在り方というのは考えていかなければならないと思っております。将来市民の皆さんが魅力あるまちとして住み続けていただくことは念頭に置いておりますので、そういった観点からも本計画は検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日予定しておりました議事については全て終了いたしました。これをもちまして、第一回嬉野市公共施設等総合管理計画策定委員会を閉会させていただきます。</p>
<p>その他</p>		